

(おうちのかたといっしょによんでくださいね)

あけまして おめでとうございます

2026年、新しい年がスタートしました。みなさんはどんな冬休みを過ごしましたか？お正月には初詣に行ったり、お節料理を食べたり、お年玉をもらったりと、普段とは違う特別なことがたくさんあったのではないのでしょうか。

1月のコスモス図書館では、昔から伝わる日本の文化やあそびの本、落語や狂言絵本などを紹介しています。今年もたくさん本を読んで、お気に入りの一冊を見つけてくださいね。

ことは午（うま）年

【午年はどんな年になる？】

午年は、馬が常に前向きに進む姿から、発展、成長、努力の實りを象徴する年と言われています。馬は古くから神の使いとされ、願いを届ける存在、福を運ぶ動物として特別な意味を持っています。

【馬がつくことわざ】

・馬が合う

とても気が合うこと。

→馬に乗る人と馬の息がぴったり合うことから。

・馬の耳に念仏

人の意見を聞かず、いくら言ってもまったく効果がないこと。

→いくら馬にありがたい念仏を聞かせても、馬は何も感じないことから。

・ひょうたんからこまが出る

※こまは馬のこと。

おもってもみなかったことが起こる。ふざけて言ったことが現実にかかる。



出典「写真で読み解くことわざ大辞典」「調べて使える！ことわざブック」



へんきやくきかん がつ か もく がつ か すい
返却期間は、1月8日(木)から1月14日(水)です。

かえ
かならず返しましょう！

※1月15日(木)より通常貸出を予定しています。



おすすめの本

らくごえほん 落語絵本 **はつてんじん** (川端 誠 作)

学問の神様、菅原道真をまつる天満宮の縁日は毎月25日。新年になって、天満宮に初めてお参りに行くことを「初天神」と言います。金坊とお父さんは一緒にお参りへ。金坊は途中の屋台で、わたがし、おこのみやき、あんずあめ、とおいしそうなものをねだりますが、お父さんは「あれは、どくだ。」とごまかします。しかし、ついに根負けして飴を買うことに・・・！？



みんなは言えるかな？
寿命無寿命無
五劫のすりきれ～



もんよう もんよう
こども文様じてん・文様ずかん (下中 菜穂 著)

みなさんは文様って何か知っていますか？文様とは、自然の造形や日常の出来事などを絵や図形で表したもので、日本には幸せや健康、長生きなどの願いがこめられた伝統的な文様がたくさんあります。この本では、日本で昔から使われてきた文様の意味が、やさしく説明されています。日本人が古くから自然や季節のうつり変わりを大切にしてきたことがわかります。花やうさぎ、とんぼなど可愛い文様がたくさんあり、見るだけでも楽しめますよ。

